

ガバナー公式訪問



長井ロータリークラブ

会長 尾形 和夫

去る7月16日（火）に新潟ガバナー、横澤ガバナー補佐、志田地区幹事をお迎えし、公式訪問が行われました。会長幹事会においては、当クラブの今年度活動計画等について、適切なお指導をいただき、また、ガバナー公式訪問例会におきましては、ガバナーよりロータリーに対しての想いと情熱など、貴重なお話を拝聴することができ、誠にありがとうございました。

今後は、当クラブ全体に浸透させるとともに、各々の委員会において議論・検討を重ね、必ずや諸計画が達成できるよう努力して参りたいと思います。ガバナーはじめ皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げまして、報告とさせていただきます。



酒田スワンロータリークラブ

会長 佐藤 道子

7月23日、新潟ガバナー、志田地区幹事、浅井ガバナー補佐が公式訪問して下さいました。例会に先立ち、会長、幹事、エレクトと6人で、わがロータリークラブの実態や年次計画について話し合いました。地区補助金やグローバル補助金などについてもざっくばらんに本音でお話でき、ロータリーへの夢を大きくふくらませることができました。

例会では、新潟ガバナーの自己紹介に始まり、ロータリーの原点などをお話しいたいただき、小規模クラブながらも、今まで同様楽しく、ためになる例会や活動を通して、有意義なロータリー活動を実践していきたいとの思いを強くしました。



酒田湊ロータリークラブ

会長 加藤 雄二

午前10時に新潟G、志田地区幹事、浅井AG3名をお迎えし、加藤会長、今井幹事と5名による公式訪問が厳かに開始、新潟Gがこれは査察でもなんでもないから気楽にやりましょうと、軽いジョークでその場を和ませてくれました。浅井AGの司会進行で、始めにクラブ会長の活動計画・方針を述べ、クラブの長所短所の話し合い、特に時間を費やしたのは会員増強の話し合い

で色々助言を戴きました。浅井AGから記念夜例会に多数の奥様が出席され、極めて家族からの理解を得ているクラブだと感じているとの感想、新潟Gからはこのようなクラブはあまりなく大変良いことだとお褒めの言葉を戴き終了、続けて例会へ出席、スピーチを楽しく拝聴させて頂きました。



山形北ロータリークラブ

会長 奥山 忠道

クラブテーマ「ロータリーを広めよう みんなの為になるように」

7月25日（木）、新潟ガバナー、高橋ガバナー補佐、志田地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会が行われました。

例会に先駆け、10時30分より会長・幹事会を開催いたしました。会長・幹事会には当クラブの柴田津興志会長エレクトと増田隆副会長にも同席して頂きました。奥山会長から当クラブの事業方針や事業内容など一通りご説明申し上げた後、新潟ガバナーからはクラブ運営方針について様々なご意見やご指導をいただきました。主に当クラブの友好都市姉妹クラブの運営等について、また、モンゴルの学校設立ではモンゴルの学校を米山の指定校にする、ボルダーバレーとの交換ホームステイのやり方など大変感心され、ご指導賜りました。

例会では新潟ガバナーを中心に全員で記念写真を撮った後例会場に移動して、卓話をしていただきました。卓話ではロータリーは文化の違う場所にそれぞれがある。アメリカは市場原理主義で、大きいものはもっと大きく、小さいものは努力不足で自己責任で切り捨てる社会である。日本は、どちらかというと相互扶助的なマイルドな社会を作って動くということは、皆の為に働くんだという事。アメリカは株主の為に会社があり、日本の会社は社員の為にあるというお話でした。

日本はロータリーを受け入れやすい社会だと思います。ロータリアンとしてやらねばならないことが3つあると言いますが、私は3.5と言っております。1つは会費を払う事。2つ目は出席をする事。3つ目はロータリーの友を読む事。そして0.5というのはロータリー財団だと思っています。この3.5をきちんとやっていたらロータリー精神が身につきます。

新潟ガバナーの卓話は、クラブ会員の心に深く浸透していき、今後のクラブ運営の指針となりました。新潟ガバナーからは大変有意義なお時間をいただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。